

[分類]
 ①当年度(6年度)において対応(対応済み含む)
 ②7年度に対応予定
 ③7年度では対応できないが、今後引き続き検討
 ④その他

番号	意見内容(要約) (公表)	対応(回答) (公表)	分類
1	<p>【町会加入促進について】 町会でも町会員を増やそうといういろいろなイベントや懇親会をやっているが、なかなか増えない。 マンション住民が町会になかなか加入してもらえないし、管理組合はマンションにポスターも貼らせてくれない。 マンションの管理人とアポを取るのも難しいので、地域のみなさまがどんなふうになっているのかお聞きしたい。 私の町会では、会員数を増やすために、お地藏さん祭り、餅つき、町会の懇親会も予定しており、若い人がおられたら、声をかけたり、町会だよりを渡したりしている。 去年は町会だよりを500枚くらい配ったが、加入者は1名くらいでなかなか入ってくれないのが現状。 地域活動協議会の事業でも各町会の町会だよりを受付で配って、興味があれば申し込んでもらえるよう地域活動協議会へ提案しているところ。 歳末夜警、餅つき、地藏盆やまちなか防災訓練のちらしに、町会加入の申込先のQRコードをつけて、カラー刷りで配れるだけ配った。 マンションにもイベントのポスターを貼ってほしいが、管理組合のOKがなかなかでないで、マンションの理事会に依頼をしてOKができれば、町会が取り組む安全・安心に関するポスターを貼らせていただいたりもしている。 町会だよりについて、防災は備蓄や訓練、レクリエーションはお祭り、地藏盆や懇親会、あとは安否確認のために町会名簿を作成していることや写真を載せた町会だよりを発行している。 (王委員) 戸建ではお願いにいけば町会に加入してくれるが、マンションの場合はワンルームは絶対入らない。ファミリータイプでも管理組合を通して交渉しようとしても交渉に応じないことがあり、各部屋に町会入会の案内ちらしをポストに貼っている。 イベントには町会に加入していないマンションの子どもも来るが、イベントへの参加を断るわけにもいかないし、どんなふうにも町会員を増やしていったらいいのか悩んでいる。 はんなん祭りでは町会加入の受付をしようと思っている。 (新藤委員) 小学校で行事をすると多くの方が来られるが、町会に入っていない方が多い。その方々に町会加入してもらうには、どんな取り組みが必要か知恵を絞る必要があると思う。 行事を実施すると、子供さんが学校からちらしをもって帰るので親子で参加はするが、単発の参加になる。それを継続していけるような形になればいいと思う。 金塚地域の方は、常盤小学校、丸山小学校に通っている子どもが多く、他の小学校に通っている子どもの親御さんをどんなふうに取り込めればいいのかと地域でも課題だなと話している。 その取り組みをすることによって、町会の加入率をあげられたらいいと思う。 (上久保委員)</p>	<p>大阪市としても、本年3月に「大阪市町会加入促進戦略」を策定し、町会の加入促進の取り組みを進めていこうとしております。 阿倍野区としまして「大阪市町会加入促進戦略」にもとづく阿倍野区のアクションプランを策定し、マンション世帯をはじめとした加入促進や各町会の取り組みを支援できるよう取り組んでまいります。</p>	①
2	<p>【町会加入のメリットについて】 町会には加入してるが、メリットって何だろうなって考えるとなかなか言語化できない。 回覧板が回ってきて、情報をもったりとか、防災のときには必ず顔を知ってるほうがいだろうとか、そういう感覚はあるけど、それが大事だというのは、なかなか若い人に伝わらないだろうと思う。 情報を取るとしたら、デジタル(インターネット)ではあんまり出てこなかったのが掲示板とかで知ったり、隣の人や家の前の人に教えてもらったりして情報を知ることがあった。 町会に加入したら楽しいイベントがあるよとか、ボランティアについても、例えば単発で、土曜日に仕事が休みでテントを立てるだけのお手伝いしてもらったら嬉しいとか具体的に知りたいと思う。 (松下委員) 地域の新聞を定期的に発行し、行事や地域の団体の紹介等を定期的に入れて配付している。 あとは、町会員の方に何かあった場合に一人住まいの方は特に何かあった時に親族に連絡がつくよう名簿を作成している。 (新藤委員) 単発で楽しむだけの方を町会につなげていくことが難しい。役員をさせられるから、単発的にしか顔をださない人もいます。 防災訓練や公園の清掃などもあり、町会の行事にいろいろ参加し、経験していく中で、理解してもらえたらいいと思う。 マンションでも人と廊下で会えば挨拶くらいはしているし、長期計画にはなると思うが、町会加入もお願いしやすくなるかなと思う。 子どもさんがいる家庭は、地域活動協議会のいろんな事業に参加してくれているので、「連合町会や地域活動協議会がやってる事業です。」と伝えて、何度か行事に参加してもらえる状況になった時に改めて町会加入の話をして町会に加入される方もおられると思う。 町会のメリットという難しいが、もしもの時のために、町会に加入した方がいいのではないですか、という言い方をしている。 ただ、若い人は災害が起きて自力で対応できると考えているし、「え、町会？」という反応をする方もいる。 大災害が起こったときに助け合いましょう、それが町会の最大のメリットだと思う。 (上久保委員) メリットが何かということについて、つながりができるということであると、今日のお話を聞いていて思った。 地域のことをこんなに考えてくれている方と、まず出合って話す時点で、地域の役員の方を覚えるだろうし、加入のメリットよりも、まず人と出合って話せるとか、イベントを催してくれることで、そこに参加できる。参加したら、顔見知りとはなっていないなくても、あの人の顔知ってるわ、とか、顔を知っているから挨拶しようとなるかも知れないし、第一歩なのかなと思う。対話するとか、会うということを作ってくれていることだと思う。 (松下委員)</p>	<p>町会加入のメリットを感じてもらうには、祭りなどの単発の楽しみにも参加していただきながら、防災、助け合いにより、命を守るといったところに訴えかけることも一つのヒントになると考えています。そうしたことも踏まえ「大阪市町会加入促進戦略」にもとづく阿倍野区のアクションプランの策定を進めてまいります。 また、SNSによる情報発信も進めてまいります。</p>	①

[分類]

- ①当年度(6年度)において対応(対応済み含む)
- ②7年度に対応予定
- ③7年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	意見内容(要約) (公表)	対応(回答) (公表)	分類
3	<p>【地域活動の担い手について】 10地域(他の連合町会)では、どのように行事を計画・実行するのか感心がある。 8月にはなんなん祭りを予定しているなか、スタッフもたくさん必要で各町会で募集しているが、お盆前で参加して下さる方が少なく、1時間でもいいから来てほしいといってもなかなか来てもらえない、どんなふうになれば若い人が参加してもらえるか悩んでいる。 (新藤委員)</p> <p>阪南小学校の児童も1,000人を超えており、その親御さんがどんどん地域に入ってくれたらいいのだが、青少年指導員も辞めると次のなり手がいない。 例えば町会で考えているのが、ボランティアクラブのようなものを作って、イベントの忙しい時に1時間でも、テントを立てるだけでも来てほしいと募集したら何人かは来てくれる。次はまた、餅つき大会があるので来れるようなら来てほしい、とかそんな形で行事を手伝っていただけたら、地域に何かと 溶け込んでくるのかなという風に考えている。 (新藤委員)</p>	<p>スポット的にお手伝いができる仕組みがあれば、それに携わることで、興味がわくこともあると思います。区としては、これらの提案により支援し、活動していただく中で町会加入のメリットを感じていただけるよう進めます。</p>	①
4	<p>【地域活動の担い手について(ボランティア体験)】 中学生や、小学生の総合の時間や社会の時間に、社会勉強として連合町会長さんをお呼びして講演会をしてもらうのもいいと思う。 今すぐに、良さとか価値は伝わらないかもしれないが、町会に入ったらこんなことができるのか、という未来の町会のリーダーを育てる感じで職場体験のような形で町会体験、ボランティア活動をしてみたいのではないかと。 経験することで、必要性があるから続けていく価値があるということ、大人になる前の社会勉強の一つとして、夏休みにお祭りのお手伝いや町会の行事を体験するプログラムなどを作って取り組んでみたらどうかと思った。 授業を通じた体験をして、自分のところの町会にもってかえるという意味でも良いと思う。 他の町会でやっていて、自分たちもしたいよね、とか動機づけとして、町会っていいよね、と思わせることができたらと思う。 実際のお手伝いとなると、小学生は難しくても中学生、高校生ぐらいになってくるとテント張りとかなら「手伝います!」ということもできると思うし、近所のおじいさん、おばあさんの安否確認に協力できたり、少し期間がかかるかもしれないが、廃れていく組織ではなく、育てる組織、蘇る組織として町会があればいいなと思った。 (甲斐委員)</p>	<p>大阪で「町会ってなあに?」という漫画仕立ての冊子を作成しています。そちらを今年度から、区内の全小学校3年生の授業等において活用し、町会の活動を周知しています。 学校で町会についての情報を得た後に、ご意見をいただいた職業体験等の際に、町会体験などができれば、段階的な取り組みになると考えます。町会が、子どもたちを育み次世代へつなげる組織としての取り組みを進めていけるよう町会と連携して検討してまいります。</p>	①
5	<p>【地域活動の担い手について(子どもたちの防災意識の向上と町会の役割について)】 小中学生が防災に取り組む姿勢をさらに前向きにするために、ぼうさい甲子園に参加するなど、結果を残していくようにすれば、その取り組みが引き継いでいける形ができるのではないかと。 中学校は職業体験、小学校ではまちなか探訪をしていたり、いろいろな体験には参加しているけど、町会のことや防災訓練で、一時避難所は町会ごとに分かれているのか、町会長さんがどんな活動をしているのかというのはいまいきなので、そういうことを学んでもらうというのは重要だと思う。 来年3月くらいに女性をターゲットにした新しい形の防災訓練をやってみたいと考えている。家庭の備蓄のことや避難所の女性の困りごとなどの視点を重視した訓練をする、子どもが主体となって親を呼べるような訓練をして、ぼうさい甲子園のようなコンクールに参加する、そして阿倍野区全体に取り組みを拡げていくというようなことを考えている。 (大鳥委員)</p>	<p>阪神淡路大震災の教訓を未来につないでいこうと兵庫県などが主催するコンクール「ぼうさい甲子園」に小中学生の防災取組をエントリーして継続的な取り組みに発展させていこうかというご提案と理解します。実際に市内の中学校が地域ぐるみで実施している「防災デー」が奨励賞を受賞するなどの実績もあります。取り組む中学生のモチベーション向上や、継承される取り組みとしていくための展開など、他の事例も研究しながら検討してまいります。 また、女性の視点を重視した避難所の取り組みは、3月の防災フェアでもテーマとしてきたところですので、ぜひ地域の防災の会合や、まちなか訓練に取り入れていただきたいと考えます。</p>	①
6	<p>【おさんぽmapについて】 4版目が置いてある場所は、どこでお知らせしているのか。 「あべのって」や「ままちゅちゅ」などの団体のSNS等で発信するなど協力したいと思った。 (大森委員)</p>	<p>区役所ホームページにおいて、「おさんぽmap」の配架場所等の情報を掲載しています。主な配架場所もホームページにて掲載させていただいております。 「おさんぽmap」の情報発信につきまして、ご協力いただきますようお願いいたします。</p>	①
7	<p>【おさんぽmapについて】 掲載されているお店は何かで募集しているのか。 掲載をするかしないかはどのような基準でしているのか。 おさんぽmapの第1版から第4版までで掲載されているお店は全部違うのか。 (王委員)</p>	<p>店舗掲載の基準は、大阪府や大阪府が取り組む企画において受賞され、おさんぽmapへの掲載を了承いただいた店舗について掲載しております。 第1版から第4版まで、この基準に該当した店舗を掲載しておりますので、同じ店舗が記載されており、新たに受賞された店舗を追加していく形になっております。</p>	④
8	<p>【おさんぽmapについて】 お風呂屋さんは何の理由で入っているのか。 「災害とつながりのあるまちづくり」という項目に関連して、遊びに来ている方や仕事の方が、いざ地震が起きた時に避難する場所がわかるような地図が載っていたら、このマップが遊んでいるときや会社や学校にあってもいいと思う。災害マップみたいなものも並行してあったら、小学校に配ってもいいんじゃないかと思う。 掲載店舗としては、商店会連盟と市で実施しているあきないグランプリの受賞店舗が掲載されているので、区商連への加入促進なども含め基準を守っていただけるとありがたい。 おさんぽmapを地図みたいに拡大版にして最初か後ろにつけておけば便利かと思う。 (甲斐委員)</p>	<p>銭湯につきましては掲載のご許可をいただいているのが2店舗ということで掲載しております。大阪市と大阪府の公衆浴場、公衆浴場業生活衛生同業組合との連携協定を結んでおまして、万博誘致の中でも外国の方が来日された際にも利用していただき、銭湯を第2版、第3版から掲載しております。 当区では防災マップを作成しております。「おさんぽmap」への掲載について、ご意見をいただきましたので、検討してまいります。</p>	②
9	<p>【おさんぽmapについて】 おさんぽmapの評価について、本の配布数とか、スタンプラリーのプレゼントがどれくらい出たから結果がよかったとか、評価の基準があるのか。 他区でもこのようなマップをやっているのであれば、その周知方法を参考にされたりしているのか。 (松下委員)</p>	<p>「地域住民・企業等と協働することで、人が集い、賑わいが創出され、魅力あるまち」をめざし取り組みを進めています。 おさんぽmapの評価基準は設けていませんが、スタンプラリーにゴールされた方へアンケートにご協力いただき、本取り組みについてのご評価をいただいております。 より多くの方に阿倍野区を回遊していただけるよう、他区の取り組みについても情報収集してまいります。</p>	①

[分類]

- ①当年度(6年度)において対応(対応済み含む)
- ②7年度に対応予定
- ③7年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	意見内容(要約) (公表)	対応(回答) (公表)	分類
10	<p>【帰宅困難者対策について】 天王寺周辺は遠くから通勤している人も多く、地震で地下鉄が止まるなどの際の対策や計画はどうなっているのか。 阿倍野区は地下鉄駅が多数あり、地下鉄乗車中の被災に怖さを感じている。駅間でも停車して構内から地上に上がる対応だと聞いたことはあるが、区役所などはそういった避難訓練はしているか。 (甲斐委員)</p>	<p>帰宅困難者対策については、市内の6つのエリアを指定し、危機管理室が対策の取り組みを進めています。阿倍野区では、天王寺・阿倍野エリアということで、周辺のホテルや商業施設などが参画する協議会において一斉帰宅の抑制の観点からの対応を依頼しています。 区役所と大阪メトロが連携した訓練などは特段行っていませんが、大阪メトロによりますと、地震による安全対応として、P波感知による速やかな安全停車及び乗客の避難誘導など、適切かつ迅速な対応を行えるよう体制を整え訓練を実施しています。</p>	①
11	<p>【成果目標の設定について】 成果目標は、絶対にこの程度の数値は要るだろうと思うのが目標値なので、去年50%だから今年60%ではなく、命が関わっているから必然的に70%か80%は必要だという感覚での目標がいるんじゃないかと個人的には思う。 (甲斐委員)</p>	<p>6年度までに60%を達成するという目標を掲げ、取り組みを進めてきましたが、目標達成まではいたっておらず、今回の将来ビジョン策定にあたって60%に設定しましたが、ご意見を踏まえ目標値を検討してまいります。</p>	①